

今後の香川県立特別支援学校の在り方検討委員会（第5回）議事概要 について

日 時 令和4年2月8日(火) 9:30～12:00

場 所 県庁本館 12階第1会議室

1 開会

あいさつ

2 議事

報告（案）（別添）について検討を行った。主に、次のような意見が出された。

○施設の狭隘化が現状としてあるが、スクールバスの駐車場や安全な発着エリアの確保など、校舎外の校地についても狭隘化が進んでいる。このような現状への対応も必要ではないか。

○校名の変更を行うことにより特別支援教育の一層の理解推進が期待されることから、盲・聾学校を含めた8校すべての変更を行うべきと考える。なお、各校において関係者への十分な説明を行い、理解を求めながら進めてほしい。

○特別支援学校教諭免許状取得については、個人の自主性に任せているだけでなく、職務研修（悉皆研修）とするなど、何らかの対策が必要ではないか。

○関係機関との連携では、各校の特別支援教育コーディネーターの果たす役割が大きく、授業時数の軽減やできれば専任化といった対策による活動の後押しが必要ではないか。

3 閉会